

# SAGA FACTORY BRANDING

佐賀ファクトリーブランディング

事業レポート 2019 > 2021

ものづくりの未来をアップデート

佐賀県経済を支えるものづくり産業の課題である人手不足を解消するため、「モデル企業ブランディング」と「みんなのファクトリーグランプリ」という2つの取組を行います。ものづくり産業に対する「きつい」、「危険」などのマイナスイメージを払拭し、ものづくりの価値の向上をサポート。ものづくりに従事する方々が働きがいと働きやすさを享受できる、魅力あるものづくり産業の実現を目指します。



SAGA FACTORY  
BRANDING



## 八雲製作所

### ものづくりの3Kイメージから 脱却し、未来の町工場へ。

**MISSION** 神埼市に所在する八雲製作所は、創業80年以上のプレス加工の専門メーカーです。工場は老朽化が進み、職場環境の整備が遅れており、「きつい、汚い、危険」の3Kイメージがつきまとっていました。また社長は、社内のコミュニケーションやモチベーションにも課題を感じていました。そこで、これからのものづくり産業の変化を見据え、魅力的な職場環境づくりのためのブランディングを行い、未来の変化に対応する会社の新ビジョンの設定、自分たちの姿勢を外部に伝えるコミュニケーションツールの制作、そして工場空間のリノベーション等、未来の町工場に向けた準備を整えました。

ブランディングチーム: 永田 秀樹、山田 芳郎、岡 優一、齋藤 秀昌、友寄 夏鈴、テツシンデザイン



## 山口産業

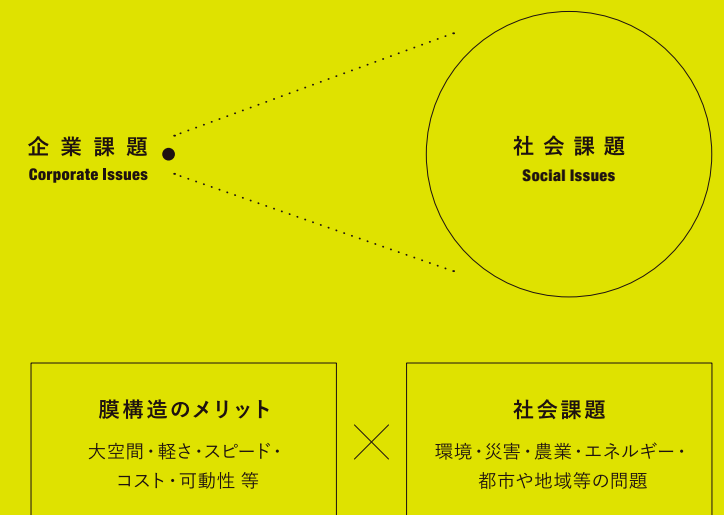
YAMAGUCHI  
NEW SHELTER  
INDUSTRY Inc.



### 社会課題に挑む会社という 新しい姿の発信。

**MISSION** 多久市に所在する山口産業は、テントハウスの総合メーカーで、業界トップクラスのシェアを誇っています。しかし県内認知度が低く、優秀な人材の確保に苦戦していました。そこで、テント倉庫の下請けメーカーのイメージからの脱却を目指し、「膜構造の建築メソッド×社会課題」という新しくかつサステナブルな膜構造の可能性を追求。「WRAP THE FUTURE(未来を包み、守り、進む)」という新しいVISIONを掲げて「メンブレラボ」を立ち上げ、他社と協業して社会課題に挑戦する企業としての姿勢を打ち出しました。

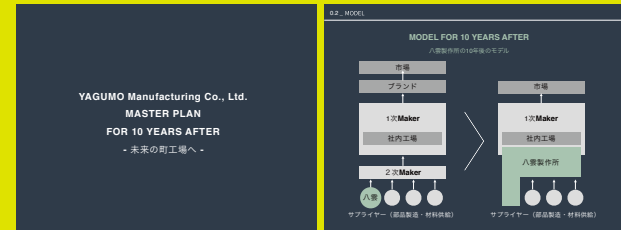
ブランディングチーム: 永田 宙郷、田崎 佑樹、塩浦 政也、豊永 翔平、黒岩 聡、廣川 淳哉、藤本 幸一郎、大塚 純雅、テツシンデザイン



SEASON1  
2019

自分たちのVISIONを見つめ、未来の町工場の姿をまとめたマスタープランを作成。

初年度は、これからのものづくり産業を見据え、企業の理念を問い直すためのビジョンの再考から、ロゴやユニフォーム等の視覚情報を統一するためのVI(ビジュアルアイデンティティ)を整理。社内外に向け、会社案内やWEB等のコミュニケーションツールを作成。未来の工場の姿を指し示すマスタープランを描いた。



MASTER PLAN



VISIONサイン



WEB



SEASON2  
2020

VISION浸透のためのサイン計画と社員自ら取り組むOPEN FACTORYの挑戦。

モノづくりの魅力を地域の子どもたちに伝えるため、「見せる工場」としてOPEN FACTORYに挑戦。工場見学やワークショップを通じて地域との交流の場を作るだけでなく、社内のチームワーク向上につなげた。また初年度に作成したビジョンや社員のアクションマインドをサイン計画に落とし込み、工場空間に設置。社員の日常の中に浸透を図った。



名刺

ユニフォーム



リクルート用リーフレット



MASTER PLAN 工場バース



OPEN FACTORY



SEASON3  
2021

魅力的な働く環境は自分たちでつくる。リノベーションによる未来の工場づくりをスタート。

マスタープランに基づき、まずは、小さな倉庫をリフレッシュやミーティングの際に使用する空間にリノベーション。「CHATTING ROOM」と名付け、コミュニケーションを促す場に再生した。空間には、プレス型のオブジェやベアリングで回る会議テーブルなどで八雲らしさを表現。制作には社員がDIYで参加し、働く環境を「自分ごと化」して作り上げた。



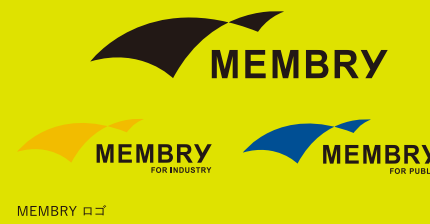
CHATTING ROOM



SEASON1  
2019

膜構造×社会課題  
新しい領域で自社のリソースを見つめなおす。

SDGsやESGが目される中、環境や災害、エネルギーや貧困等の社会の課題に対して、膜構造のサステナブルな可能性を考えるワークショップチームを編成。建築、農業、ビジネス等の各ジャンルに精通したアドバイザーと共に新しい膜の可能性をタブロイド誌にまとめ、異業種や若手人材に向けて情報発信を行った。



MEMBRY ロゴ



ブランド・プロジェクトロゴ



名刺・封筒

WEB



SEASON2  
2020

未来を描くVISIONの視覚化。社内への浸透と社外へ発信するための体制づくり。

ビジョンを浸透させるため、ビジョンを視覚化した動画を制作し、山口産業が目指す未来を分かりやすく表現。CMを流し、社内への浸透は勿論、県内での知名度UPを図った。またタブロイド誌vol.2を発行。「都市」をテーマに膜構造の新たな可能性を模索した。今後タブロイド誌は、毎年発刊し、リーディングカンパニーの立場を確立する。



タブロイド誌vo.1



VISIONムービー



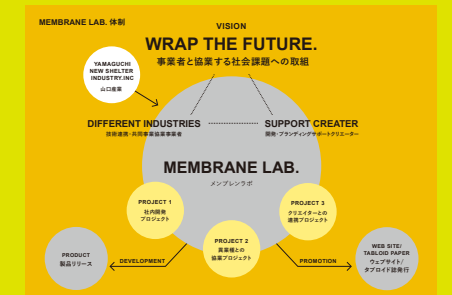
タブロイド誌vo.2



SEASON3  
2021

他社との協業の場、自社プロジェクトを磨く場としてラボを設立し、下請けから課題提起型の会社へ。

3年間のワークショップを経て、山口産業の姿勢を具現化する「メンブレンラボ」の体制を確立。異業種や社会の課題に対して山口産業の技術を活用することで、事業領域を広げて、オープンイノベーションを起こすための共創の場とし、今後、ラボを中心に様々な事業者と繋がり、社会を変えるプロダクトを生み出していく。



MEMBRANE LAB.体制



ワークショップ



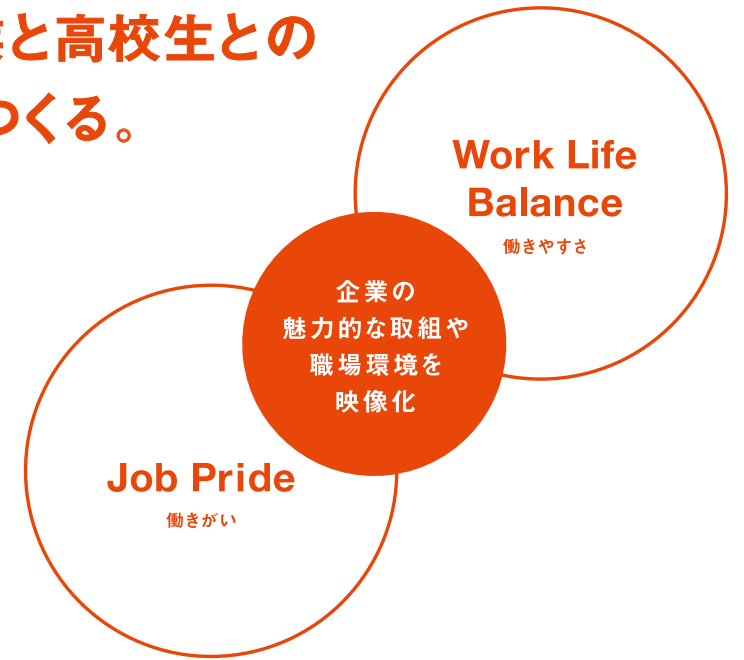
みんなのファクトリー  
GRANDPRIX 2021

# GRANDPRIX 2021

みんなのファクトリー 高校生が選ぶ！働きたいSAGAものづくり企業グランプリ

## キラリと光る魅力あるものづくり企業の取組を映像化。 県内のものづくり企業と高校生との 新たな出会いの場をつくる。

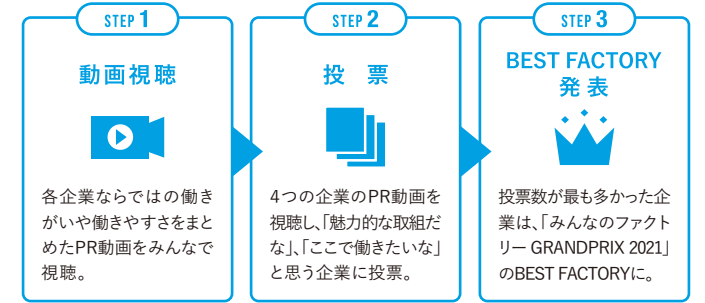
本グランプリでは、県内ものづくり産業の未来を担う高校生に、働きがいや働きやすさを実感できる魅力的な職場づくりに取り組んでいるものづくり企業をPRLします。応募された企業から4社程度を選定し、各企業独自の取組や魅力をプロのクリエイターがPR動画として映像化。高校生による投票でBEST FACTORYを決定します。若い世代の価値観やニーズを取り入れ、県内ものづくり産業全体のイメージアップへと繋げていきます。



### 県内の工業系高校2年生

約1,200人

の投票結果で、BEST FACTORYを選出



### 高校生のコメント 出場企業のPR動画を見て、高校生が働きたい!と思ったポイントをコメントしてもらいました。

イイダ靴下株式会社	IMARI株式会社	タケックス株式会社	日本タングステン株式会社 基山工場
<p>新商品のアイデアを提案でき、それが良かったら商品化されるという点で、1人1人の意見を大切にしている会社というのが伝わってきた。また、海外への研修などグローバルに活躍できる機会があるのも魅力的。</p>	<p>20代の意見も通りやすく、自分の意見もしっかり考えてもらえるのが良いと思った。休日がしっかりしていて、プライベートの時間も取れるし働きやすそうと思った。</p>	<p>笑顔が多く、職場内の雰囲気が良さそうで楽しく働けそうな気がした。また、自分たちで足りないものを補ったりして助けあって働いている点が働きやすそうと感じた。ワークライフバランスがとれるところもいい。</p>	<p>若手の社員でも新規プロジェクトの立上げなど活躍できるチャンスがあり、色んなことにチャレンジをしっかりとらせてくれる会社だと感じたので、やりがいを持って働けそうだった。</p>
<p>ものづくりにすごくこだわりを持って仕事に取り組まれていると感じた。更に良い商品を作ろうと、お客様重視でサポーターを作っていて魅力的と感じた。自分もサポーターをつけるので、更に人に喜ばれるサポーターを作りたい。</p>	<p>「梱包」から色々な可能性を求め、新たな価値創造をしていることがすごいと感じた。また、社長の「製造業は危険そう、汚そうというイメージを無くしたい」という考えに共感でき、とても魅力的な会社だなと思った。</p>	<p>コミュニケーションを取って、自分の頭で考えることを大事にしているところがいいと思った。また、自分の企画や提案がその現場の生産性を向上する事が出来るという、働きがいがある会社だったから魅力的と感じた。</p>	<p>上と下とのつながりを感じ、社内の雰囲気がすごく良く見え働きやすそうと思った。社員みんなで製品開発をしている感じがあり、様々な事に挑戦出来るという向上心の高さ、環境の良さに感心し、いいなと思った。</p>



# BEST FACTORY 2021



IMARI株式会社



IMARI&CO.

## 若手社長が目指す、ダンボールの新たな価値創造

IMARIは「梱包」を通し、お客様の大切な商品を守り続け50年。「プロテクト・イノベーション」を合言葉に、梱包資材製造プラスαで様々な分野に挑戦しています。

最近では、工場の3Kイメージを変えるために、インナーブランディングを行い、ロゴを一新したり社員の新しい制服を導入しました。また、見た目の変革だけでなく働く環境も整え、より働きがいのある職場づくりを目指しています。

今後は、長年の実績とノウハウを最大限に生かしサステナブル・プロテクト・カンパニーとして、ダンボールの様々な可能性を追求し、世の中に貢献できるものづくりを続けていきます。



代表取締役 福井 康一郎



PR動画

# GOOD FACTORY 2021

イイダ靴下株式会社



## 足に関するウェアをアップデートする

イイダ靴下は靴下・インナー・サポーターの専門メーカーとして製造を続けて100年。長年培った技術と最新設備で、国内生産ならではの高品質・高機能の製品を提供しています。今後も品質だけでなく、更なる「高付加価値」を生み出すためにお客様の声を大切にし、肌に触れ美しく機能する日本の匠のものづくりを続けていきます。



代表取締役社長 飯田 拓二



PR動画

タケックス株式会社



## 次世代のコミュニケーションを通じて笑顔になれる社会をつくる

タケックスは映像セキュリティ機器や音響機器を製造している会社です。顧客が安心して使用できる商品をつくり、プロの厳しい基準にかなう高い専門性を追求しています。徹底した市場細分化と創造的な商品開発により、「音によるコミュニケーション」に貢献する国際企業を目指しています。



代表取締役 瀧川 実



PR動画

日本タングステン株式会社  
基山工場



## 一人ひとりの創造力で未来をつくる

日本タングステン株式会社は日本でもいち早くタングステンの製造技術を導入。タングステンを始めとするレアメタルや特殊材料の知見を活かし、多くの産業分野へ商品を提供しています。これからも世界の人々と従業員の明るい未来を実現するために、次世代を支えるマテリアルメーカーとして新たな価値創造へと挑戦を続けていきます。



代表取締役 後藤 信志



PR動画

## BEST FACTORY 2020



みんなのファクトリー

GRANDPRIX  
2020



山口産業株式会社

テントで街を、未来を、変えていく。



PR動画

### 受賞コメント

BEST FACTORYに選んでいただき非常に光栄ですし、とても嬉しい気持ちでいっぱいです。

テントは大きいものなので、みんなで作り上げていくものです。その過程では誰か1人がやるより、協力しながら、みんなの力を結集していくことを意識しています。自分がどんな仕事をして、そこで始める仕事を好きになってもらいたいですし、好きということから仕事が好きになることもあると思うので、自分が何か始めることを好きになることから始めてもらいたいです。

## GOOD FACTORY 2020



九州精密工業株式会社

世界一の歯車を造る、  
歯切工具メーカー。



PR動画



聖徳ゼロテック株式会社

社員のライフスタイルを大切に、  
多様性のあるFACTORYを目指す。



PR動画



丸秀醤油株式会社

佐賀から日本の伝統文化を世界に  
伝えていく。



PR動画